

建築について

「砂丘館」は、新潟市が所有する旧日本銀行新潟支店長役宅の通称です。

ここは新潟砂丘の上。同じ並びには、かつて旧制新潟高校とその寄宿舎「六華寮(六花寮)」があり、いずれも洋風木造の建物でした。あまり上り降りする(町に遊びに行く)と落第すると言われたどっぺり坂(ドイツ語のドッペル=ダブる、落第する、からつけられた)を上りきった正面、右手に位置するのが砂丘館。明治以後お屋敷町として開発されたこの界隈には、今も洋館の付いた住宅などが残りハイカラな雰囲気が残っています。

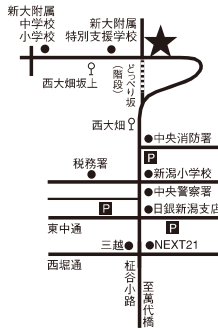
旧支店長役宅は昭和8(1933)年の建設。設計は日本銀行の技師平松浅一、施工は新潟の武田組が行いました。庭は新潟の長生園によるもの。戦前の日本銀行の役宅として現存するのは新潟と福島(昭和2年)の2つだけです。

建物は東南から北西方向にのびる敷地に、奥深い作りで、中央を貫通する廊下(中廊下)によって接客・生活空間とサービスヤードが明確に区分されています。中廊下はプライバシーの重要性を説いた、大正期の住宅改良運動の影響により登場したものでした。

玄関脇には、外観こそ和風ですが、ゆったりとした洋間の応接室と書斎が広がり、奥に和室部分が続きます。

敷地奥には町中から移築された蔵があります。新潟の町が災害に襲われた場合、役宅で支店業務が代行できるようにとの配慮で作られたもので、外壁は火災に強いコンクリートになっています。

役宅という性格を考慮してか、商家の座敷に見るような凝った細部意匠は見られませんが、欄間などに精緻なデザインが見られ、特に正面玄関の軒下に寺院建築に特有の斗拱(ときょう)が引用されているのはユニークです。



砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104
新潟市中央区西大畑町5218-1
tel./fax.025-222-2676
sakyukan@bz03.plala.or.jp
<http://www.sakyukan.jp/>



砂丘館には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。

〈新潟駅からのバスのご案内〉
西循環(12・12A系統)または
観光循環バス乗車
「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体
施設設置者:新潟市中央区地域課

砂丘館では、年間を通じさまざまな企画展示、
伝統文化・芸能から現代芸術までの幅広い催しをおこなっています。

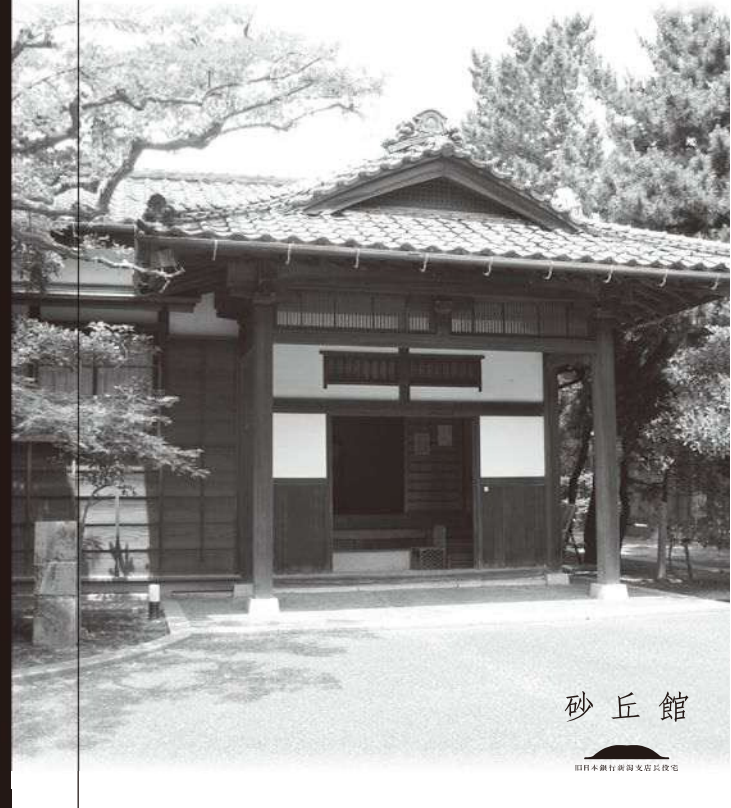
入館無料 管理用スペースを除き、自由にご覧いただけます
開館時間 午前9時から午後9時まで
休館日 月曜日(祝・休日の場合は翌日)
祝・休日の翌日(その日が土曜の場合は直近の火曜日)
12月28日～1月3日

砂丘館では、居間、茶の間、座敷、
奥座敷、蔵を、さまざまな文化的
活動や会合などに貸し出しています。
利用受付は利用日の3ヶ月前
から。料金は下記の通りです。詳
しくはお問い合わせ下さい。

居間……………2000円/1時間
座敷・茶の間・奥座敷……………2500円/1時間
蔵(ギャラリー)……………3500円/1時間
※冷暖房機を使用する期間(6月15日～9月30日、
11月15日～3月31日)は30%増

芸術・文化施設 砂丘館

歴史の厚みと
心を揺さぶる
芸術に会える



砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

